

## 第 2 回 令和 3 年度奈良市文化振興補助金交付審査部会会議録

開催日時	令和 2 年 12 月 15 日（火） 午後 2 時から午後 4 時まで		
開催場所	奈良市役所 第 18 会議室		
出席者	委員	中川部会長、上田部会員、山下部会員	
	事務局	池田文化振興課長、川井課長補佐、小谷総務係長、大西	
開催形態	非公開	(非公開の理由)	奈良市情報公開条例第 29 条第 1 項第 3 号
		非公開の具体的な理由等	
		補助金の交付要望があった事業の審査・採点を行うため。	
議題	令和 3 年度奈良市文化振興補助金 都市文化推進支援事業 二次審査		
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市文化推進支援事業（広域参加型）について、要望があった 6 事業のうち、4 事業を交付候補事業、2 事業を交付候補補欠事業とすることを決定した。</li> </ul>		
議事の内容			
<p>1. 令和 3 年度奈良市文化振興補助金 都市文化推進支援事業 二次審査について</p> <p>奈良市文化振興補助金交付審査要領第 4 条に基づき、事業の要望者がプレゼンテーションを実施する予定であったが、奈良市の新型コロナウイルス感染状況がステージⅢに移行したことに伴い、感染予防の観点から審査内容を書類審査に変更した。団体による事業の PR 機会、部会からの質問の機会を確保するという趣旨から、団体から事前に追加資料を提出させ、そちらも審査対象とした。結果は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市文化推進支援事業（広域参加型）について、要望があった 6 業を審査し、4 事業を交付候補事業、2 事業を交付候補補欠事業とすることを決定した。</li> </ul> <p>2. 部会員からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予算額に対する上限額が適正であるかの検討が必要。</li> <li>・団体に対し、前年度との差額については査定されることを説明すべき。1 割 2 割なら理解できるが、実績に対し 8 割 10 割増の要望額については理解できない。急にそれだけのイベントを企画できる力がついたのか、といった疑問が出てくる。</li> <li>・他の事例では、事業単位で割合も委員会が決めているものもある。順位による配分率が適正かについて柔軟に検討してもよいのでは。</li> <li>・公益性と経営の自立性については、公益性が高ければ高いほど経営の自立性は落ちていくという相反する関係にある。補助金がなくても実施可能な事業については、自立性という観点で評価してもよいのでは。</li> </ul>			